

キリンググループ
2014年12月期第1四半期決算

2014年4月30日
キリンホールディングス株式会社

1 Qハイライト



- ・ 定量目標達成に向け安定したスタート。各指標とも概ね計画どおりの進捗

(億円)		FY2014	FY2013	対前年増減	
売上高	過去最高	5,287	5,206	+80	+1.5%
営業利益		300	241	+58	+24.4%
経常利益		285	234	+51	+21.7%
四半期純利益		111	543 [※]	▲432	▲79.6%

※フレイザー・アンド・ニーヴ社株式売却益462億円を特別利益として計上

(定量目標進捗)

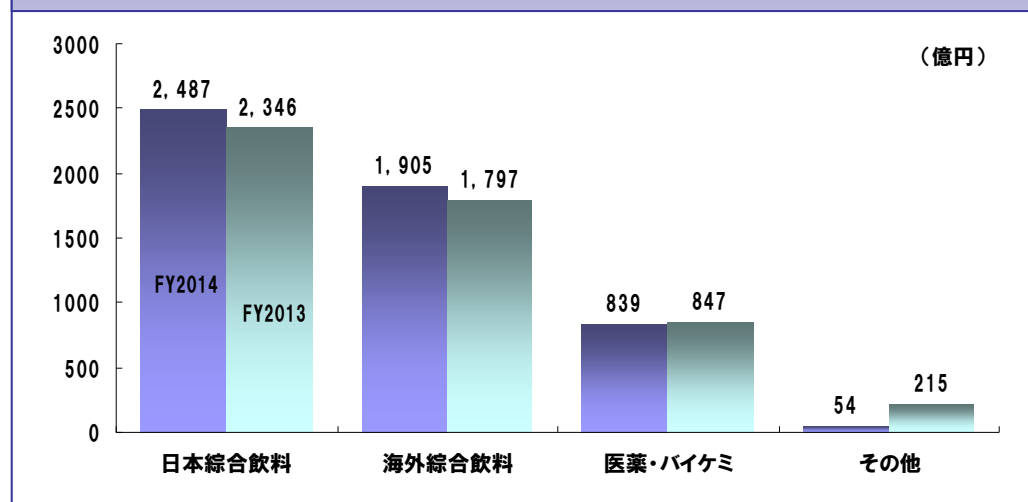
平準化EBITDA ^{※※}	664	583	+81	+13.9%
平準化EPS ^{※※}	30	20	+10	+50.0%

※※P7「定量目標明細」参照

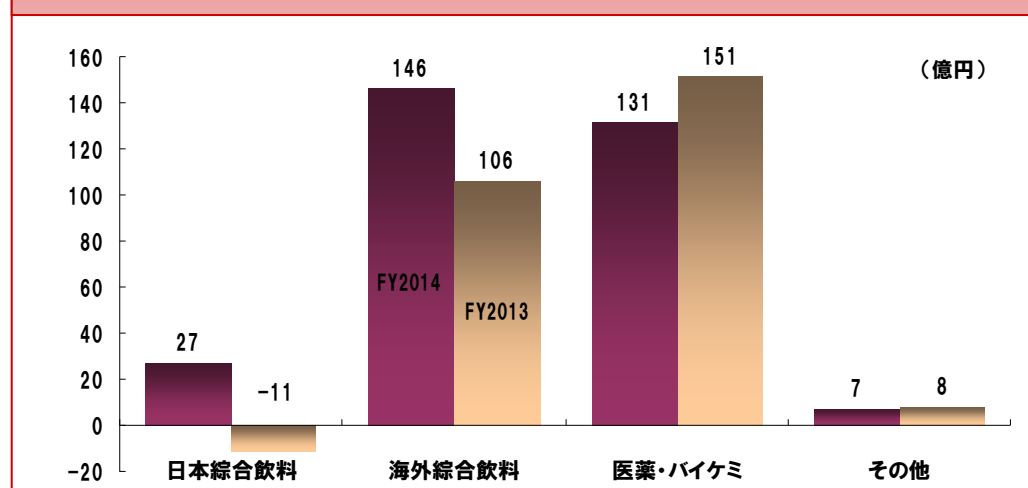
事業セグメント別の概況



売上高



営業利益



・ 日本総合飲料

主力ブランドの育成と消費増税前の駆け込み需要獲得の最大化に注力。酒類・飲料ともに販売数量が前年を上回り、増収・増益

・ 海外総合飲料

(豪州) 酒類事業の増益により、苦戦が続く飲料事業の減益を補完

(ブラジル) 販売数量は前年並みも、単価上昇・コストコントロールの徹底により、増収・増益

・ 医薬・バイオケミカル

花粉飛散量減少等により抗アレルギー剤・抗アレルギー点眼剤の減少や、技術収入等の減少が影響

・ その他

キリン協和フーズ社連結除外（昨年7月）

重点課題の進捗① 日本総合飲料

KIRIN

	ビール類計	RTD	ワイン	清涼飲料
販売数量 (前年増減)	+6.2%	+20.7%	+11.0%	+7.0%

- ・ 最重要課題であるビール類主要3ブランドの販売が年初計画に沿って順調に推移
- ・ RTD「氷結」「本搾り」が好調。強いブランドポートフォリオの確立が進む



対前年
+9.1%

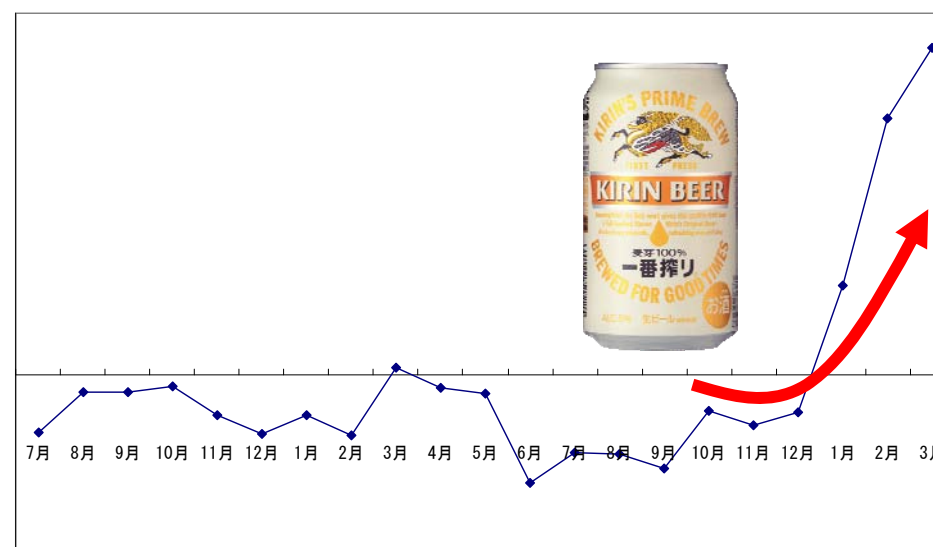


対前年
+10.8%



対前年
+8.7%

＜一番搾り（缶）の月次前年増減推移＞



※リニューアル品の販売・新広告を開始した年初より、缶ビールの販売トレンドが反転

重点課題の進捗② ブラジルキリン

KIRIN

(対前年増減)

ビール・清涼飲料 販売数量	売上高	のれん等償却前 営業利益	EBITDA
+0.9%	+12.7%	+\$R9MM	+\$R9MM

- ・ 過度な低価格競争を回避したことで販売数量は微増に留まるも、単価UP効果により増収。コストコントロールも徹底し、利益水準を確保

市場トピックス

- ・ 全国各地でカーニバル開催（3月上旬）



当社取り組み

- ・ 主力ビール“Schin” “Devassa”のブランディング強化



- ・ 1－3月販売状況

ビール	対前年	+1.2%
清涼飲料	対前年	+0.4%

日本
KIRIN

- ・「キリン一番搾り」「淡麗グリーンラベル」「のどごし生」への一層の資源集中・プロモーション強化による、市場プレゼンスの更なる向上
- ・キリンビバレッジの商品ミックス改善とコストコントロールの強化

ブラジル

BRASIL KIRIN
THE POWER OF RESPECT

- ・競争状況の変化に対応した、フレキシブルな戦略決定・施策展開
- ・主力ビールブランド *Schin* のブランディング強化施策の継続実行
- ・FIFAワールドカップ需要獲得の最大化

豪州

LION

- ・主力の豪州ビール事業を中心とした、収益目標の着実な達成
- ・飲料事業における高付加価値セグメントの強化および更なる構造改革への継続的取り組み

（補足１）定量目標明細

KIRIN

（平準化EBITDA）

（億円）

	2014年 目標	2014年 1Q	2013年 1Q
営業利益	1,400	300	241
減価償却費	1,042	219	226
のれん償却額	480	121	115
持分法適用関連会社からの 受取配当金	98	23	－
平準化EBITDA	3,020	664	583

（平準化EPS）

（億円）

	2014年 目標	2014年 1Q	2013年 1Q
当期純利益	490	111	543
のれん等償却額	655	165	157
税金等調整後特別損益	57	5	▲509
平準化当期純利益 ①	1,202	281	190
期中平均株式数(千株) ②	929,340	929,321	961,121
平準化EPS(円) ①÷②	129	30	20

（補足２）日本総合飲料 １Ｑ業績明細



	2014年	2013年	対前年増減
ビール	136 千KL	128 千KL	5.8%
発泡酒	114 千KL	109 千KL	4.6%
新ジャンル	146 千KL	136 千KL	7.8%
ビール類計	397 千KL	374 千KL	6.2%
RTD	54 千KL	44 千KL	20.7%
清涼飲料	4,171 万箱	3,907 万箱	7.0%

	2014年 (億円)	2013年 (億円)	対前年増減 (億円)	(%)
キリンビール	1,519	1,424	94	6.6
キリンビバレッジ	722	699	22	3.3
メルシャン	158	144	14	9.8
その他	87	77	9	12.7
売上高	2,487	2,346	141	6.0
キリンビール	38	5	32	595.4
キリンビバレッジ	▲37	▲41	4	—
のれん償却額	▲4	▲4	—	—
計	▲42	▲46	4	—
メルシャン	▲1	0	▲2	—
その他	34	29	4	16.0
営業利益	27	▲11	39	—

【営業利益増減】

①キリンビール

(億円)

要因	増減	内容
酒類限界利益増	35	ビール販売数量増 8千KL 10億 発泡酒販売数量増 5千KL 5億 新ジャンル販売数量増 10千KL 12億 RTD販売数量増 10千KL 9億 品種構成による差異 他
原材料コスト	0	麦芽コストアップ ▲2億 包材コストダウン 4億 他
販売費増	▲8	販売促進費・広告費増 ▲9億 他 ビール・発泡酒・新ジャンル ▲10億 RTD ▲4億 他
その他費用減	5	減価償却費減 7億 他
計	32	

②キリンビバレッジ

(億円)

要因	増減	内容
数量差異	28	販売数量増 264万ケース
原材料等 コストアップ	▲5	原料コストアップ ▲2億 包材コストダウン 1億 他
容器構成差異等	▲22	
販売費増	▲2	販売促進費・広告費増 ▲2億 他
その他費用減	5	販売機器費減 3億 他
計	4	

（補足3）ライオン 1Q業績明細



		2014年		2013年		対前年増減		対前年増減（％）	
		億円	百万AUD	億円	百万AUD	億円	百万AUD	円ベース	AUDベース
売上高	酒類 ※	783	839	732	851	50	▲12	6.9	▲1.4
	飲料	563	604	543	631	20	▲27	3.7	▲4.3
		1,346	1,443	1,276	1,483	70	▲39	5.5	▲2.7
のれん等償却前営業利益	酒類	246	263	200	232	45	31	23.0	13.4
	飲料	11	12	16	18	▲4	▲6	▲29.7	▲35.2
	本社費用	▲20	▲22	▲22	▲25	1	3		
のれん償却額		▲77	▲82	▲70	▲82	▲6	▲0		
ブランド償却額		▲10	▲10	▲9	▲11	▲0	0		
営業利益		149	159	113	131	35	28	31.5	21.3

連結期間：2013年10月～2013年12月 為替レート：93.31円（前年同期：86.08）

※AUDベースの酒類売上高は実質3.8%増（現地会計処理の変更に伴い、2013年1Q売上高851百万AUDには輸入ビールの仕入にかかる関税43百万AUDを含むが、2014年1Qは含まない）

酒類	営業利益増減 （百万AUD）	飲料
232	2013年	18
▲3	販売数量増減	▲4
35	その他	▲1
263	2014年	12

	販売数量 （対前年）
酒類	▲0.5%
飲料	▲3.0%

（補足４）ブラジルキリン １Ｑ業績明細



	2014年		2013年		対前年増減		対前年増減（％）	
	億円	百万レアル	億円	百万レアル	億円	百万レアル	円ベース	レアルベース
売上高	468	1,068	440	948	27	120	6.3	12.7
のれん等償却前営業利益	16	38	13	29	3	9	23.9	31.2
のれん償却額	▲13	▲29	▲13	▲29	0	—		
ブランド償却額	▲7	▲17	▲8	▲17	0	—		
営業利益	▲3	▲8	▲8	▲17	4	9	—	—
EBITDA	46	107	45	98	1	9	2.2	9.2

連結期間：2014年1月～3月、為替レート：43.86円（前年同期：46.47）

	販売数量 （対前年）
ビール	+1.2％
清涼飲料	+0.4％
合計	+0.9％

- ・ 粗利の増加（+\$R54MM）：製造原価の上昇を、値上げによる単価UPとサプライチェーンの効率化により対応
- ・ 販売費及び一般管理費の増加（▲\$R44MM）：
 - ①最盛期における販売ボリューム最大化に向けた戦略的ブランド投資
 - ②競合による低価格攻勢への対応

※参考：市場（SICOBÉ）

ビール：+10.6％

清涼飲料：+2.5％

KIRIN

**この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。
銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。**

This material is intended for informational purposes only and is not a solicitation or offer to buy or sell securities or related financial instruments.